

市議会だより

第68号

9月定例会

令和4年11月1日発行
(2022年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会



3年ぶりの開催
二本松の提灯祭り



令和3年度決算審査 … P.2～3

定例会概要…………… P.4～5

一般質問…………… P.8～13

令和3年度決算を認定しました

9月定例会では、令和3年度各会計決算を審査する決算審査特別委員会を設置しました。「市の予算が適正に使われたのか」「効率的に行われているのか」「事業の成果は」など、令和3年度の重点施策を中心に審査しました。審査の結果、全議案「認定すべきもの」として本会議に報告しました。審査の主な内容を紹介します。

企業誘致推進事務

問 企業誘致サポート事業委託料154万円の内容と成果は。

答 日本立地センターへ業務委託して、国内企業1万4,000社にアンケートを実施し、回収は1,361件であった。その中で、長命工業団地のパンフレットを同封し、本市に興味があると回答した19社を中心に、企業訪問等を通じて積極的に販売活動を行っている。



道路照明整備事業

問 街路灯は設置工事により増えているはずだが、予算額と比較して、電気料の決算額が減少している理由は。

答 工事での設置数は新設の街路灯が22基、蛍光灯などをLEDに取り替えたものが74基、合計96基であった。灯数が増えているのに電気料が下がっているのは、LED化した効果と考えられる。



高齢者等生活支援事業

問 高齢者等のごみ出し支援戸別収集業務負担金の予算額216万円が、決算額では126万6,000円と約半分になった要因は。

答 収集業務は安達地方広域行政組合で行っており、負担金として支出しているが、当初予算では76件を見込んでいたが、利用実績が30件となったことによる。

道路橋補修事業

問 点検調査を行った結果は。

答 令和3年度においては、市で管理している542橋のうち160橋の点検を行った。点検結果は『健全』『予防保全段階』『早期措置段階』『緊急措置段階』の4段階に診断されるが、橋梁の機能に支障が生じている『緊急措置段階』と診断された橋はなかった。なお、『早期措置段階』と診断された橋26橋あり、これらについては順次、補修を行う予定である。

防災対策

問 備蓄用品購入の積算根拠と施設用備品の配置場所は。

答 備蓄用品であるアルファ米及びクッキーを例にすると、本市人口の約5%にあたる2,750人の3日分を想定している。また施設用備品の簡易ベッドについては、指定避難所47箇所と福祉避難所5箇所へ各5台分の計260台を購入したものである。

意見 緊急時の備蓄用品やベッド等の備品整備が盛り込まれており、防災対策の取り組みが進んでいるが、更に市民の防災意識の高揚を図ること。



備蓄用品のクッキー
アルファ米・飲料水



簡易ベッド

農業機械保守点検補助

意見 補助対象がコンバインだけであるが、トラクター等の各種農機具についても、種類に応じた補助額を設けたうえで補助対象とするなど、幅広く活用できるよう拡充していくべきである。

障害福祉サービスの充実

問 障害児通所給付費の支給額が前年度に比べ約26%も増加している要因は。

答 保護者のニーズの高まりや、新規事業所の開設に伴う支給量の増であると考えられる。相談支援体制の整備・充実により、障がいを持つ児童・生徒が通所支援事業所を利用しやすくなっている。

意見 生活弱者である障がい者への支援策として今後も必要な施策であり、引き続き継続すべき。

令和3年度各会計の決算状況

一般会計及び特別会計

(単位：円)

会計別		歳入	歳出
一般会計		37,930,428,064	35,441,192,187
特別会計	国民健康 事業勘定	5,656,467,031	5,493,099,651
	保 険 直営診療施設勘定	93,094,230	92,226,241
	後期高齢者医療	656,054,664	652,223,777
	介護保険	6,651,338,339	6,264,406,651
	土地取得	48,734,646	48,734,646
	公設地方卸売市場	12,918,693	8,275,112
	佐勢ノ宮住宅団地造成事業	599,500	599,500
	茂原財産区	3,435,561	3,230,628
	田沢財産区	1,525,637	1,483,082
	石平財産区	10,059,105	9,822,352
	針道財産区	231,182	92,164
小手森財産区	867,041	713,467	
合 計	51,065,753,693	48,016,099,458	

企業会計

(単位：円)

工業団地造成事業		収入	支出
収益的収支		2,045,026	2,045,026
資本的収支		0	87,175,112
宅地造成事業		収入	支出
収益的収支		0	—
資本的収支		42,875,139	42,872,464
水道事業		収入	支出
収益的収支		1,447,824,897	1,247,752,988
資本的収支		267,058,861	784,233,007
下水道事業		収入	支出
収益的収支		1,035,099,833	1,032,846,209
資本的収支		94,303,837	491,250,382

安全・安心で質の高い教育環境の整備

問 学校適正規模等調査事業の状況は。

答 令和元年度から検討を進めているが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、適正規模等調査検討会の開催を見送り、次年度での適正規模の検討について準備を進めた。

意見 児童・生徒数の減少を考慮し、早急に学校規模の検討をして、子どもたちにとって学びやすい学校運営ができるよう進めてもらいたい。

訴訟法務事務

問 弁護士委託料282万7,000円の内訳と相談件数は。

答 内訳は年間委託料が66万円、損害賠償請求事件ほか2件の着手金、及び成功報酬として216万7,000円である。市からの相談は14件であった。

市長提出議案 29 議案

地域づくり推進事業など令和3年度各会計決算を認定

令和4年9月定例会では市長提出議案29件を審議し、全議案を原案どおり認定、可決及び同意しました。

令和3年度各会計決算は、決算審査特別委員会において延べ5日間にわたる審査を行った後、本会議で全ての会計決算16議案を認定しました。

地域づくり推進事業は、地域の社会的課題に対して、市民自らが地域全体の視点に立ち、事業内容の検討、決定を行い、市民相互の支え合いと活力のある地域社会を創造することを目的とした事業であり、ソフト事業の申請額は2,080万2,000円、補助実績額は1,359万2,000円、ハード事業の申請額は3,489万円、補助実績額は1,578万4,000円となりました。

このほか、令和3年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定や令和3年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定などについても審議し、全会一致で認定しました。

議案第77号 令和4年度二本松市一般会計補正予算

畑作生産振興事業や運輸業等事業継続支援事業など一般会計補正予算案を可決

畑作生産振興事業では、産地全体の出荷量及び販売額の向上を目指すための機械選果ラインの増設(5,071万円)、運輸業等事業継続支援事業では、燃料費の価格高騰により、市内の運輸業等を営む者についても経営が逼迫している中において、燃料費の一部を支援(3,200万円)するなどを盛り込んだ補正予算を全会一致で可決しました。

補正予算の主なもの

○財政調整基金積立金の増	6億6,700万円
○学童保育所開設準備に伴う助成金の増	916万円
○農業用飼肥料高騰対策事業	4,999万円
○災害廃棄物処理事業費の増	5億3,137万円



安達地区広域共選場

二本松市茂原財産区管理委員選任の同意

高本 隆一さん(茂原・新任)

人権擁護委員候補者の推薦

渡邊 一郎さん(本町・再任) 渡邊 公子さん(八坂町・再任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第57号	令和3年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第58号	令和3年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第59号	令和3年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第60号	令和3年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第61号	令和3年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第62号	令和3年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第63号	令和3年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第64号	令和3年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第65号	令和3年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第66号	令和3年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第67号	令和3年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第68号	令和3年度二本松市小手森財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第69号	令和3年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第70号	令和3年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第71号	令和3年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第72号	令和3年度二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第73号	二本松市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第74号	二本松市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第75号	二本松市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第76号	二本松市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第77号	令和4年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第78号	令和4年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第79号	令和4年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第80号	令和4年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第81号	令和4年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第82号	令和4年度二本松市石平財産区特別会計補正予算	原案可決
第83号	令和4年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第84号	令和4年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第85号	二本松市茂原財産区管理委員選任の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第3号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第5号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択
第6号	国に対し、「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	趣旨採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

二本松市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定及び一般会計補正予算について

○二本松市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 育児休業の取得要件緩和の具体的内容と休業中の報酬についてはどうなるのか。

答 この条例改正については、主に男性の会計年度任用職員を対象とした、子の誕生日から8週間以内の期間に取得できる育児休業が、これまでの1回から2回取得可能となったこと等が主な改正点である。また、育児休業中の報酬については無報酬となるが、加入している健康保険からの育児休業手当金により6割程度収入が保障される。

意見 非常勤職員の育児休業が拡充され、休業中の報酬についても収入が保障されるとのことなので、良いことだが、育児休暇は取得しにくいと言われているので、取得しやすい雰囲気づくりも進めてほしい。

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

問 災害廃棄物処理事業について、被災家屋等撤去処理費償還金に係る建物の内訳と面積は。

答 申請者が2件で、主に鉄骨造の建物であり、旅館の面積が2,728㎡で、旧結婚式場の面積が1,703㎡である。

意見 消防施設設備等維持管理経費について、市内には老朽化している施設があると思うので、点検を実施して早めの対応をしてほしい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

一般会計補正予算について

問 運輸業等事業継続支援事業について、運輸業の性質上、車両が必ずしも市内で事業を営んでいるものではないと考えるが、対象車両の考え方は。

答 市内に本社又は営業所等のある事業者が使用し、かつ、車検証の使用の本拠の位置が市内の車両のみを対象とする考えである。

問 対象車両について、トラックの積載容量等の違いによる取扱いの考えは。

答 予算積算上は大型トラックを基準としているが、積載容量等により燃費も違うことから、車種ごとの区分に応じた単価設定等について検討したいと考える。

意見 事業の執行にあたっては、対象車両の審査基準等を明確にし、予算の範囲内で適切に執行すべきである。

問 土木施設単独災害復旧事業について、被災箇所126箇所の地域ごとの内訳は。

答 二本松地域が道路80箇所と河川1箇所、安達地域が道路12箇所、岩代地域が道路19箇所と河川1箇所、東和地域が道路13箇所であり、合計で道路124箇所と河川2箇所の126箇所である。

意見 各種災害復旧事業については、迅速かつ適切に、被災箇所の復旧に向けて努めるように。



机上審査の様子

9月8日に付託された各議案は、9月12日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日27日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 各施設の電気料金の増額について、現在の社会情勢を鑑みると、今後もエネルギー価格の高騰は想定されるが、その場合も、現在契約している電気事業者との契約を継続するのか。

答 各施設の電気調達の契約は入札により行っており、現在の電気事業者との契約は令和4年3月から令和6年2月までの2年間であり、その期間は継続して当該電気事業者から電気の供給を受けることとなる。

問 安達地方特別支援学校敷地造成事業について、今回整備する駐車場予定地が学校建設予定地から離れており、児童・生徒の送迎のために利用することを考えると利便性が良くない。学校の敷地内に駐車場のスペースが取れないのか。

答 今後、県において校舎等の実施設計が行われ、建物等の配置が検討される予定となっている。

意見 児童・生徒を送迎する車が、玄関前で乗降できる形で整備するなど、送迎の在り方を検討するよう県に要望してもらいたい。



机上審査の様子



現地調査の様子(安達地方特別支援学校敷地)

決算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

9月定例会では、令和3年度各会計決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。9月15日及び16日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。



一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月8日から12日の3日間行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、質問時間を一人40分以内に短縮し、合計16人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。 **【発言順】**



質問者ごとにQRコードを掲載しています。スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像をご覧いただけます。



三木 剛

[無所属]

社会体育施設の管理運営は 小中学校の父母負担軽減措置の状況は

問 生涯スポーツの振興において社会体育施設、カントリーパークとうわの陸上競技場の管理が適切に行われているか。

答 競技場のトラックに発生した藻に対して安全面を考え、トラックの洗浄を平成24年度に除染事業として実施し、平成29年度にオーバーレイを実施した。その後、職員が清掃をしたが、思うような洗浄効果が得られなかった。今年度、民間業者による清掃のデモンストレーションを一部実施し、一定効果があることを確認した。定期的な清掃につ

いては、安全な利用のために、費用面なども考慮しながら、実施に向けて検討している。

問 コロナ禍で収入が減った家庭に対する父母負担軽減対策はどのように行われているのか。

答 コロナ禍の影響で収入が減った家庭に特化した施策は講じてはいない。しかし、経済的な理由により就学困難と認められる小・中学生の保護者に対して、就学上必要な経費の一部を助成する就学援助制度を設け、申請の方法については、各学校を通して保護者に周知している。

新型コロナウイルス感染状況は 市道及び遊歩道の除草は

問 新型コロナウイルスの市内感染状況を伺う。

答 市内感染者の報告について、管轄である県北保健所から感染者数のみ連絡が入る。現在は、感染者数と県全体の性別、年代別の件数のみ福島県のホームページに公表される。県北保健所へ照会したが、市の年代別感染者数は市町村ごとの集計を行っておらず、重症者・死亡者数は県本部で所在地等を公表していないためお答えできかねる。

問 市道及び遊歩道の除草について伺う。

答 市道は道路パトロールを行い、草の繁茂状況によ



高宮 正彦

[真誠会]

り、道路管理者である市において除草を行う。観音丘陵遊歩道は定期除草を行っている。市の直営による除草作業には限界があり、ボランティア活動で地域の皆様に可能な範囲での除草作業をしていただいている。しかし、近い将来、高齢化の問題もあり、皆様のご協力を得ることが難しいため、除草効率を上げる方法や無人草刈機やラジコン草刈機の導入、建設業者への業務委託などについても検討していく。



武藤 清志

[みらいの風]

問 行政文書における「地域」と「地区」の使い分けについて、どのように市内統一されているか。市民に幅広く理解を得るための配慮は行っているか。

答 「地域」は合併前の旧「二本松市、安達町、岩代町、東和町」の区域を指す場合、「地区」は各地域の大字以下の区域を指す場合にそれぞれ使用している。再度、市内へ周知したい。難解な「役所ことば」は使用せず、市民に分かりやすい文書を作成するよう職員に周知徹底する。

市民が分かりやすい市政をどう推進するか 道路の適切な管理体制は

問 市道・国県道の管理と道路愛護団体の育成支援はどのようになっているか。

答 2,043kmに及ぶ市道は毎週道路パトロールを行い、市民からの通報とも併せ適切な維持管理に努めている。国県道も同様に国交省国道維持出張所及び県土木事務所が本市と連携して管理にあたっている。市では道路愛護活動へ「ボランティア支援事業」を行っている。

8月豪雨の太陽光発電施設による被害は 市内学校施設の環境整備は

問 岩代の太陽光発電施設での事故原因と被害状況、協定書による行政指導は。

答 調整池に排水を導く縦排水が今年5月のゲリラ豪雨で洗堀破損し、縦排水の洗堀拡大防止のため集水桝で調整を行ってきたが、8月3日の大雨で集水桝に土砂が流入・堆積し、国道459号や共同墓地に土砂が流出した。「環境保全に関する協定書」に「事故等発生時は、速やかに市、地域住民等に報告とともに事態の収拾を迅速に図る」とされているが、事故の把握が遅れたこと、対応が迅



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

速とは言い難いと指摘し、今後、台風や警報発令時には、現地に待機する等の対応を強く指導した。

問 PTAによる学校施設の草刈りが、児童生徒の減少に伴い保護者数も減り、作業実施に困難をきたしている。こうした現状を踏まえ、当局で予算を確保するなど今後の進め方を伺う。

答 今後も保護者など可能な範囲で協力を願いたい。学校の管理上不都合が生じる場合、臨時的経費の予算措置等も含め対応を検討したい。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 特別支援学校建設の進捗状況は、県から聞いているか。

答 令和3年度から令和5年度に地質調査、基本・実施設計を行う。現在予定通り進んでいる。本市は、敷地造成測量設計業務及び進入路拡幅の用地買収を完了。現在、敷地造成を進めている。併せて、進入路の工事も予定しており、完成後は、早期に福島県に引き渡し、安達地方特別支援学校の令和7年度半ばの開校に向けて、協力していきたい。

特別支援学校建設の進捗と学区、定員等は 茶園1丁目地内の冠水する市道の改良は

問 学区、定員、通学条件は示されているか。

答 学区は県内一円とし、定員及び学級数は小学部が児童数25名程度11学級程度、中学部が生徒数15名程度6学級程度、高等部が生徒数35名程度8学級程度となっている。条件は、知的障がいのある児童生徒が対象。

問 雨が降るたびに冠水する茶園1丁目地内の住宅に挟まれた市道、道路改良はできないか。

答 沿線住民の生活に支障をきたしている。後退道路の舗装と併せた対策を検討したい。

消防団員報酬は 道路維持は



安齋 政保

[市政会]

問 団員報酬が個人ごとに振り込まれると、部の活動費はどうされるのか。

答 令和3年度まで、団員報酬のほか、火災や災害現場での出動に対する手当として1人当たり年額8千円を活動報償費として、各分団を通して支給した。本年度からは、火災や災害への出動に際し、1回当たり2千円の出動報酬を支給することとし、活動報償費は年額3千円、団員報酬については「消防団員個人に対して直接支給すること」との国からの指導により、消防団幹部会のご理解をい

ただき、個人口座へ振り込むこととした。出動報酬は本年4月より運用開始、機能別団員を除く団員に出動実績に応じて支出することから、出動した団員の確認をする。

問 赤坂山・田尻線道下地内の狭隘な道路の拡幅は。

答 令和3年度から側溝改修工事に着手しており、令和3年度で60m、令和4年度では50mの側溝改修工事を既に発注している。現況より約1m幅員が広がり、車輛の交互交通がスムーズになる。今後も、年次計画により側溝改修を行う。



佐久間 好夫

[真誠会]

畜産生産振興事業 東和地域のスクールバス

問 肉用牛繁殖雌牛ゲノム事業について伺う。

答 本事業の目的は、ゲノム育種評価技術を活用し、脂肪交雑の能力が高い評価を得た繁殖雌牛を自家保留などにより残すことで、市全体の繁殖雌牛群の産肉能力の向上を図るもので、解析価格は1頭あたり税込16,000円の定額となっている。肉用牛繁殖雌牛ゲノム育種評価補助では、1頭につき、補助対象経費の2分の1以内の額、または8,000円のいずれか低いほうの額を補助する。ゲノム解析牛の販売価格は、市場動向にもよるが、平均価格

以上の高値で取引されている。

問 始業開始に間に合わない児童生徒がいるため、バスの出発時間を変更する考えは。

答 東和小中学校の朝の活動は8時5分から始まりませんが、コミュニティバスの運行時刻は、東和小学校に到着する便のうちの遅い便は、7時58分着であることから、朝の活動が始まる時刻を5分繰り下げることで、両学校と協議し調整を図ったので、これからは余裕を持って登校できると考えている。

イヌやネコへの不妊手術助成制度の創設を 「糖尿病リスク予測ツール」の活用を



小林 均

[令和創生の会]

問 飼い犬、飼い猫、飼い主のいない猫を対象とした不妊去勢手術への助成制度の創設を。

答 県内で補助金を出している自治体もあるが、飼い主の責任で管理することが基本であり、助成制度については、今後の検討課題である。

問 公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業への登録後の現状について伺う。

答 本年7月11日に登録し、飼い主のいない猫を管理する団体等への支援を行っている。8月に無料不妊手術チケット10枚を1団体に配布。

問 「地域猫活動」の推進について見解を伺う。

答 環境省も推奨するこの活動は、地域住民、ボランティア、行政の三者協働で行うことが大切で、連携を取りながら可能な支援をしたい。

問 国立国際医療研究センターが教育ソフトウェアと共同開発した「糖尿病リスク予測ツール」を市のホームページに掲載し活用できないか。

答 市ウェブサイトへの掲載で、様々な組合保険の対象者にアプローチできる可能性がある。効果的な活用を関係各課と協議し検討していく。



坂本 和広

[真誠会]

問 市民の皆様よりのご意見やご提案に対するお答えの情報開示を、広報にほんまつへ概略を掲載することと、市ホームページにワンクリックで閲覧できるタブの設置はできないか。

答 広報にほんまつへの掲載は、スペースの確保も必要なため、内容や時期等も考慮し検討する。また、ホームページに関しては今年度リニューアルを予定しており、視認性を高める表示方法を含めウェブサイトづくりを進めて参りたい。

広報にほんまつや市HPへの情報開示は 二本松の菊人形は

問 二本松の菊人形の過去10年間の入場者数の推移と今年の入場見込みは。

答 H24年197,001人、H25年90,200人、H26年102,803人、H27年81,269人、H28年83,575人、H29年66,682人、H30年80,829人、R元62,293人、R2年43,388人、R3年20,362人で本年見込みは61,000人となります。

問 霞ヶ城近郊の駐車場確保は。

答 霞ヶ城公園の駐車場5箇所と城報館の多目的広場のほか、10月22日以降の土日祝日は二本松北小学校のグラウンドも借用予定です。

人口減少対策事業 新設パークゴルフ場建設計画

問 移住促進住宅取得奨励金事業の利用規定は。

答 奨励金の支給対象者は新たに本市に転入され、住宅取得契約時に39歳以下であること及び配偶者または18歳未満の子を有する方を対象としている。新築住宅取得の場合は、市内業者と契約し、新築住宅を取得する方、中古住宅取得の場合は、建物表示登記後5年以上経過した中古住宅を取得する方で、奨励金の額は、補助対象住宅の取得契約額の10分の1に相当する額として、36万円を上限に支給している。

問 人口減少に係る今後の取り組みは。

答 地元雇用環境や新規就農者の支援、住宅環境の整備、子育て支援、福祉の充実、教育環境の整備などの取り組みを進めることが重要と考えている。

問 新設パークゴルフ場の今後の予定は。

答 現在、施設整備検討委員会の立ち上げの準備を進めているところで、市内の各スポーツ関係団体等から委員を推選いただき、市長より委嘱させていただき、その委員会で施設の整備等について慎重に議論を重ね検討する。



小野 利美

[市政会]



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 中小事業者は、異常な円安やウクライナ問題で、原材料など物価高騰に苦しんでいる。コロナ倒産は過去最高となった。市内の融資実態と、生活困窮者への灯油補助は。

答 836事業所、融資額148億7,187万円。国では、無利子、無担保で融資が行われてきた。返済が滞ると関連する事業者連鎖し、地域経済にも打撃を与える。国で有効な支援策を講じるよう市長会を通じて要望する。灯油補助は県や近隣市町村の動向を踏まえて対応する。

コロナ対策は 市税等の減免及び滞納の実態は

問 令和2・3年度のコロナや災害の市税等の減免は。

答 固定資産税422件で1億4,445万円。国民健康保険税193件で1,482万円。

問 市営住宅家賃及び給食費の未納の実態は。

答 市営住宅の滞納は3,447万円。令和2年度以前が8割を占めており、少数の生活困窮者が滞納している。市営住宅は福祉的側面もあるので、滞納者の事情を勘案し分納等の対応を行う。給食費の滞納は86名の634万円で、保護者の承諾があれば児童手当からの納入も行った。

ふくしま森林再生事業の今後の取り組みは パークゴルフ場建設の見通しは



佐藤 源市

[みらいの風]

問 令和3年度までの事業実績と効果及び常緑樹の間伐率は。また、令和5年度からの取り組みについて伺う。

答 平成25年度より8ヶ所、110haの整備や木材の利用を推進し、下層植生の回復により、山地災害防止機能などの効果が期待できる。間伐率は、材積間伐率で35%以下を基準とし、スギ間伐は30%以上の地区が大半を占める。市実施計画は令和7年度までに、共有林等で毎年約20haの整備を計画し、県は復興創生期間終了後10年間の事業継続を国に要望している。



戸沢石平財産区森林整備事業状況

問 スポーツの推進、健康づくりを市民が望んでいるが、規模、場所及び総事業費を伺う。

答 施設整備検討委員会を今月立ち上げる計画で、今後、整備内容等を慎重に議論し検討する。



熊田 義春

[市政会]

問 病床人数、重症者人数の割合は。

答 市に提供される情報は、管轄保健所である県北保健所から人数のみの連絡であり、病床者人数及び重症者人数の割合ともに、県本部で所在地等の公表はしていない。

問 ワクチン接種推奨の周知方法は。

答 新型コロナウイルス感染症の感染拡大第7波では、防災ラジオによる呼びかけや、ウェブサイトへの掲示、お盆前の8月8日には市長メッセージとし

新型コロナウイルス感染症の現状は

て、ワクチン接種の呼びかけを実施している。また、保育所、幼稚園、小学校の年代である5歳以上11歳以下の接種については、9月6日、予防接種法の改正により、努力義務の対象となったことから、今後の接種の勧奨方法について、努力義務の対象ではあるが、ワクチン接種については強制ではないので、差別やいじめ、同調圧力の原因とならないよう注意を払いながら関係各課と協議し進めていく。

大雨の被害と本市の対応は 本市の物価高騰の認識と独自の対策は



鈴木 一弘

[みらいの風]

問 大雨の被害と本市の被害に対する対応は。

答 公共土木施設については、法面崩落等129箇所、133,200千円の被害で、10月28日までに3箇所が国の査定を受け、126箇所については市内事業者へ災害修繕業務として依頼する。農地については、田が16箇所、畑が14箇所、13,000千円の被害で、市の「農地等小規模災害復旧事業補助金」を活用して農業者個人で復旧修繕を進めていただきたい。農作物については、小規模で被害額は計上していない。

問 物価高騰の本市の認識と本市独自の対策は。

答 本市で委嘱する消費生活モニター20名による調査結果から価格動向をみると、本年2月と8月では灯油18リットル388円、LPG10m³948円、豚肉100グラム28円の値上げなど予断を許さない状況と認識しているが、一般家庭向けの本市独自の新たな支援策は、現在予定をしていない。事業者向けの新たな対策については、今回提案した「運輸業等事業継続支援事業」の他は現段階で決定しているものはない。



加藤 建也

[無所属]

問 タクシー運賃助成の要望が非常に多く、温泉券との政策統合についての期待も大きい。十分に検討する価値があると思うが考えを伺う。

答 各種事業を総合的に判断し、「笑顔あふれるしあわせのまち二本松」実現に向け、各施策に取り組んでまいるので、政策統合についてはご提言として受け取る。

タクシー運賃助成と温泉券の政策統合は にほんまつ城報館にバス停設置の考えは

問 市内各地域や観光客の来館を考えれば、城報館前にバス停があったほうが良いという意見があるが設置の考えはあるか。

答 本施設への来場、誘客の想定としては、普通自動車を中心として整備しており、にほんまつ城報館付近を通行する新たなバス路線が必要となることから、持続可能な運行の可能性も含め、総合的に勘案して参りたいと考えている。

安達ヶ原ふるさと村の状況は 本市窓口のICT化の対応は

問 茅葺古民家の屋根や天井がひどく傷んでいるが対応を伺う。

答 茅葺き屋根の葺き替えについては、材料の手配や、職人の確保、費用など多くの課題があり、今後、費用対効果を含め検討する。

問 5年先・10年先を見越した公園整備計画が必要だと考えるが見解を伺う。

答 社会情勢の変化による現況を踏まえながら、公園を訪れる方のニーズに対応できるよう、5年先・10年先、更にもっと先まで市民に愛される持続可能



齋藤 徹

[みらいの風]

な安達ヶ原ふるさと村公園を目指し、今後、関係する皆様と協議を進めながら、公園の活用・維持管理方針を検討する。

問 デジタル窓口を設置している自治体があるが、本市の考えを伺う。

答 タブレット端末等による窓口のデジタル化は、申請者の負担の軽減、待ち時間の短縮等、サービス向上に繋がるが、令和7年度までに全国的にシステムを統一することになっている。事務システムの改修の推移を見守り検討する。

お知らせ

次回の定例会は12月上旬に開会の予定です。本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。傍聴の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いします。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



令和4年第6回(7月)臨時会

7月臨時会は、7月21日に開催されました。提出された議案は補正予算等3件で、審議の結果、全会一致で原案可決・同意しました。

主な内容は次のとおりです。

◎財産の取得について

- ・安達学校給食センター洗浄室厨房機器一式(5,432万円)を購入するもので、議会の議決を求めたもの。

◎令和4年度一般会計補正予算について

- ・原油価格・物価高騰に伴う住民税非課税世帯への緊急支援等について措置したもの。

歳出の主なもの

○民生費

- ・住民税非課税世帯に対する物価高騰対応緊急支援事業 3,856万円

○商工費

- ・インバウンド誘客促進事業費の増 230万円

○教育費

- ・民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査事業費の増 770万円

○災害復旧費

- ・市営住宅施設災害復旧事業費の増 598万円

◎二本松市監査委員選任の同意について

- ・議員の任期満了に伴い、議員のうちから選任する委員について、佐藤有議員を適任者とし、議会の同意を求めたもの。



監査委員 佐藤有

令和4年度(第5回)議会報告会 中止のお知らせ

当市議会では、広く市民の皆さまの声を市政に反映させるための意見交換の場として、議会報告会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、慎重に検討を進めた結果、今年度は開催を中止することといたしました。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3つの密を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



傍聴者の 声

藤町老人クラブ 大内 征史 さん

私たちのクラブは、国道沿いの花植えや、公園の清掃作業、そしてグラウンドゴルフ、パークゴルフと楽しく活動しておりますが、今回クラブとして初めて議会傍聴をいたしました。

9月議会のため、主に令和3年度の一般会計、特別会計の決算認定でありましたが、1年間の予算執行の成果を細部にわたって聞くことができました。また、市政発展のため、市当局、議員一丸となって議論され、二本松をよりよいまちにしていきたいという強い思いを議会を通して感じる事ができました。



藤町老人クラブのみなさん



インターンシップの学生のみなさん



9月27日 9月定例会最終日に傍聴されたみなさん

東北学院大学 遠藤 万陸 さん

このたび、議員インターンシップの一環で、二本松市議会の傍聴に参加しました。議会傍聴は初めてで、私のイメージとは違いがあって勉強になりました。市議会では、議員の皆様が市民の生活に寄り添った細かい視点から、様々な議論をなさっていて、二本松市をよりよくしたいという思いが伝わってきました。

今後はこの議会で学ばせていただいた市民の生活に寄り添った視点や、問題解決のために長期的に取り組む姿勢などを自分の考え方に反映させ、大学での地域づくりの学びや将来の仕事に活かしたいと思います。

福島大学 篠塚 美月 さん

今回、一般質問や決算審査特別委員会を中心に傍聴させていただき、議員の方々の様々な意見を知ることができました。

私は二本松市に住んでいるのですが、地元の問題について市民の声を参考にしながら議員の方や市役所の方が議会を進める姿を目の当たりにし、市政にはたくさんの方が関わって私たちの生活が支えられているのだと実感することができました。

今までいつの間にか新しい建物が建設されていたり、学校の合併がなされていたり、という事が多かったのですが、自分の住む市についてよく考え、市民として問題等に目を向けて生活していきたいと思いました。

福島大学 市川 愛理 さん

私は今回が初の議会傍聴でした。一般質問では、私達の生活の身近で様々な問題が取り上げられていました。1つの議題について詳しく掘り下げ、どのようにすれば社会が良いほうに進むのか考えている議員の方が多いと感じました。

また、「住民の方はこの点を不便に思っているそうです。」とおっしゃる議員の方もいて、地域住民の声を反映しようとしてくれていることが分かりました。そのため、地域の様々なことに興味・関心を持ち普段の生活を送っているのだと気がつきました。

政治は私自身にとって遠い存在だと思っていましたが、今回の議会傍聴を通して少し身近に感じられた気がします。

編集後記

編集委員会も新人議員三名を含む七名の新体制でスタートしました。

編集に当たっては、市民にわかりやすい、見やすい、よりよい紙面になるよう各委員より活発な意見や提言を出してもらいながら進めているところです。

市民と議会を結ぶ大切な役割を担えるよう編集委員全員で力を合わせ頑張つて参ります。

引き続き関心を持ってもらえるよう編集に務めますので、御意見等をお寄せいただきますようお願い致します。(安齋)



編集委員会

委員長
副委員長

安齋 藤 斎 藤 坂 藤 武 藤 高 木 三

政 保 廣 二 和 彦 清 剛 彦 志